

日米欧グローバル3拠点での営業活動強化に向けた 経営執行体制の変更に関するお知らせ

株式会社 ispace（東京都中央区、代表取締役：袴田武史、以下 ispace）（証券コード 9348）は本日 2024 年 11 月 1 日付で、下記の通り、経営執行体制の変更を発表しましたのでお知らせいたします。

旧役職	新役職	氏名
Chief Revenue Officer	Executive Fellow	斉木 敦史
Chief Financial Officer	Chief Financial Officer & Executive Business Director	野崎 順平

これに伴い、ispace は本日付で Chief Revenue Officer 職を廃止いたします。今後、当社の営業戦略については代表取締役 CEO & Founder である袴田武史が統括の上、袴田、米国拠点 CEO である Ronald J. Garan Jr. 及び、欧州拠点 CEO である Julien-Alexandre Lamamy が直接売上を管掌すると共に、新たに Executive Business Director 職を設置の上、グローバル3拠点の営業活動を連携し、経営管理を一層強化する体制に変更いたします。なお斉木敦史は引き続き Executive Fellow として引き続き営業活動を推進して参ります。

■ 株式会社 ispace 代表取締役 CEO & Founder 袴田武史 コメント

「日米欧政府を中心に月の需要が確実に拡大する兆しを捉え、この度の組織変更により、各地域の多様なニーズにより迅速に対応し、グローバル法人間の協力プロセスを効果的に運用することで、当社グループ全体での営業力強化を目指してまいります。」

■ 株式会社 ispace (<https://ispace-inc.com/jpn/>)について

「Expand our planet. Expand our future. ~人類の生活圏を宇宙に広げ、持続性のある世界へ~」をビジョンに掲げ、月面資源開発に取り組んでいる宇宙スタートアップ企業。日本、ルクセンブルク、アメリカの3拠点で活動し、現在約300名のスタッフが在籍。2010年に設立し、Google Lunar XPRIZE レースの最終選考に残った5チームのうちの1チームである「HAKUTO」を運営した。月への高頻度かつ低コストの輸送サービスを提供することを目的とした小型のランダー（月着陸船）と、月探査用のローバー（月面探査車）を開発。民間企業が月でビジネスを行うためのゲートウェイとなることを目指し、月市場への参入をサポートするための月データビジネスコンセプトの立ち上げも行う。2022年12月11日には SpaceX の Falcon 9 を使用



し、同社初となるミッション1のランダーの打ち上げを完了。続くミッション2の打ち上げを最速2024年12月に、2026年ⁱⁱにミッション3、2027年にⁱⁱⁱミッション6の打ち上げを行う予定。

ミッション1の目的は、ランダーの設計および技術の検証と、月面輸送サービスと月面データサービスの提供という事業モデルの検証および強化であり、ミッション1マイルストーンの10段階の内 Success8 まで成功を収めることができ、Success9 中においても、着陸シーケンス中のデータも含め月面着陸ミッションを実現する上での貴重なデータやノウハウなどを獲得することに成功。ミッション1で得られたデータやノウハウは、後続するミッション2へフィードバックされる予定。更にミッション3では、より精度を高めた月面輸送サービスの提供によってNASAが行う「アルテミス計画」にも貢献する計画。

ⁱ 2024年11月時点の想定

ⁱⁱ 2024年11月時点の想定

ⁱⁱⁱ 2024年11月時点の想定